

中 守破離



令和5年10月27日（金）第22号

面接



- 「どうしてこの学校を受験しようと思ったのですか？」
- 「勉強や部活で壁にぶつかった時、どうやって乗り越えましたか？」
- 「最近のニュースで気になることを理由もつけて教えてください」
- 「あなたの長所は何ですか？高校生活でどういかしますか？」
- 「何をしてもいい時間があったらどんな風に過ごしますか？」

これらはすべて、過去3年間の高校入試の面接で実際に先輩たちが聞かれた質問です。今、あなたがこの質問をされたら、答えることができますか…というようなことを言いたいわけではありません。だって、どう答えるかは、実際の入学試験本番までにゆっくり考えることができますからね。

今日みんなに考えてほしいのは、例えば、「どんな声の大きさに答えるか」「どんな姿勢で答えるか」「どんな言葉づかいで話すか」といったことです。つまり、入学試験の面接では、答えの「内容」も評価されるけれど、「どう答えるか(答え方)」も同じくらい重要な評価のポイントだということです。

答えの内容はゆっくり考えて準備すればいい。しかし「どう答えるか」は普段からそれを意識して身に付けておかなければうまくいきません。「相手に届く声の大きさや聞きやすいスピードで話す」「正しい言葉づかいで自分の考えを述べる」「正しい姿勢で椅子にすわりその姿勢をたもって話す」…これらのことをきちんとやりきることが大切なのです。なぜなら、高校の先生にとってはこちらの方がチェックしやすいのですから。ちなみに、面接ではないけど、入試の筆記試験の時の姿勢は確実にチェックされます。

だからこそ、「正しい言葉づかい」「声の大きさやスピード」「正しい姿勢で話す、聞く」といった力を、毎日の学校生活、授業や部活動などで身に付けておくことが大切なのです。日常の会話をすべてかしこまった言葉づかいでする必要はない。しかし、先生と話をするときや授業中は正しい言葉づかいで話すのです。姿勢も同じ。一日中ずっと姿勢を崩さずに生活する必要はない。しかし、授業や集会などでは正しい姿勢を保つのです。

くり返し言い続けてきた「守の徹底」。それが入学試験本番で力となる。

感動をありがとう

仁音祭を振り返る③(3年生)

